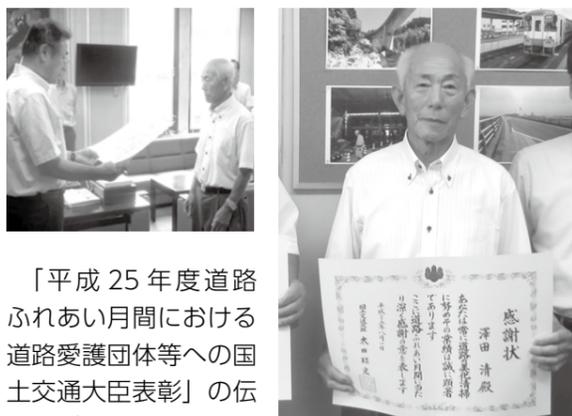


美化清掃に尽力！ 澤田さん 国土交通大臣から感謝状



「平成 25 年度道路ふれあい月間における道路愛護団体等への国土交通大臣表彰」の伝達式が、8月27日(火) 滋賀県庁で行なわれ、澤田清さん(今津町)に感謝状が伝達されました。

この表彰は、国土交通省が道路交通の安全と道路の正しい利用の促進、路肩の除草、花壇の整備等、長年にわたり功績のあった民間団体や個人に感謝状を贈呈する制度です。

澤田さんは、約 20 年前から天川の土手や近江今津駅東口広場から琵琶湖汽船乗り場までの間で「はなのみち美化活動」を行い、常に道路の美化清掃に努められた顕著な取り組みが評価されました。(都市計画課)

高島スポーツ少年団、 沖縄県伊江村へ

沖縄伊江村・高島青少年交流事業(夏期)として、8月23日(金)から26日(月)まで高島学園5・6年生の5人が沖縄県伊江村を訪問し、現地の子どもたちと交流しました。

青空のもと、エメラルドグリーンに輝く珊瑚礁の海で、シュノーケリング、バナナボートなど貴重な体験したほか、首里城、平和祈念公園、美ら海水族館等を見学しました。宿泊は、現地の子どもたちの家でそれぞれホームステイ。家族のように温かく楽しく過ごさせていただき、みんな別れを惜しんでいました。

来年2月には、沖縄の子どもたちが、高島を訪れます。(高島市スポーツ少年団 高島支部)



過ぎゆく夏を、まつりで堪能！ マキノ高原で市民まつり

第7回 高島市民まつり

8月24日(土) マキノ高原を会場に、たかしま市民まつりが行われました。

7回目を迎える今年は、「つながりから絆へ～つながりから生まれる高島の未来～」をテーマに、マキノ高原ヨシたいまつ祭りとの合同開催。会場内にはさまざまなコーナーが設けられ、「はたらく車大集合」のコーナーには、普段間近で見ることのできない車が勢ぞろい。実際に運転席に乗り込んだり記念撮影をしたりする家族連れなどでにぎわっていました。また、特設ステージでは、13団体が歌やダンスなど、さまざまな発表を行いました。

日が暮れると、高原の斜面に設置された1000個のペットボトルランタンに明かりが灯され、幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、祭りの最後には、ヨシたいまつが点火され、花火が夜空を彩りました。(企画広報課)



中学生、熱き思いを語る!!

中学生広場「私の思い2013」



8月24日(土)、藤樹の里文化芸術会館で、第16回中学生広場「私の思い2013」滋賀県大会が開催されました。

滋賀県内の中学生20,414人の意見文の中から選ばれた12人が、日ごろ感じている思いを約450人の観客の前で堂々と発表されました。

高島市からは、高島中学校3年 堤千紘さんが「平和の世界」と題して、修学旅行で行った沖縄から学んだ平和について発表されました。

また、高島市内の中学生実行委員19人が2日間を通して今大会を運営し、会場からは、中学生のしっかりした対応や挨拶に大変気持ちがいいとの声が聞かれました。(高島市青少年育成市民会議)

藤樹先生の教えを学ぶ5日間

大洲市と備前市で藤樹キャンプ

市内の小学生4~6年生が体験活動を行う「よえもん道場」では、8月5日(月)から9日(金)まで4泊5日の日程で、愛媛県大洲市と岡山県備前市で「藤樹キャンプ」を行いました。

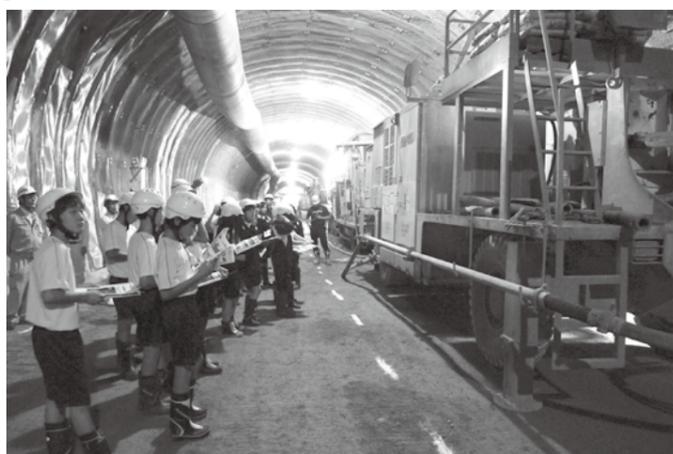
大洲市での藤樹先生の史跡めぐりや、^{ひし}川でのカヌー、野外炊事にキャンプファイヤーなど普段の生活では体験できない活動を体験しました。特に大洲市の小学生とのレクリエーションを通じた交流は思い出に残る活動となりました。

また、備前市の^{しずたに}閑谷学校では講堂学習を行い、猛暑の中、全員が大きな声を出して論語の素読を行いました。(高島市青少年育成市民会議)



校内に大きな声が響いた素読

朽木中学生が、海老坂トンネル工事現場を見学



9月4日(水)、国道303号の道路改築事業として、今津町追分地先で現在工事が進められている海老坂トンネルに、朽木中学校の生徒53人が、社会科学習等の一環として工事現場を訪れました。

見学会では、工事の進捗状況や使用されている機械の説明のほか、工事現場における環境対策への取り組みなどについて説明を受けました。また、測量機器を実際に操作して距離を測定したほか、見学記念として防水シートにメッセージやイラストを書いたり、工事中のトンネル最奥部で記念撮影をしたりしました。

海老坂トンネル工事は、道路線形が悪く、特に冬期間において交通事故が多発している急カーブ区間をトンネルによりバイパス化し、安全に通行できる道路にするもので、平成26年6月末の完成をめざして工事が進められています。(企画広報課)

